



皆様から寄せられたご質問に対し、講師の皆様からご回答をいただきました。



Q1

8050問題の困難ケースは、急激に増えてきているのでしょうか？
体感的なものでもいいので、教えてくださいませんか？

A1, 手塚さん回答



近年になって「8050問題」がクローズアップされたただけであって、それ以前より同様のケースは潜在していたと思います。たまたま今回こういった形で情報提供することになりましたが、他のCMさんも、以前から8050問題（制度の狭間の人達の支援）に関わっていたかたはいらっしゃると思います。

A1, 京谷さん回答



【後日、掲載予定です】

A1, 長谷川さん回答



体感的には8050問題のケースは増えてきている感じはあります。実際にも函館市の平均年齢は年々上がってきている実態があり、今後も増えてくるのではないだろうかと思います。

A1, 山本さん回答



8050問題のケースについて社会問題になってきており、増えてきているみたいですが実際に表に出てくる事は少ないのではないかと思います。今回のケースについて私も話しを聞いた時に驚きました。体感的なものとして子供に障害があり高齢の母親と

同居しており、親子ケンカが多くあり母親に手を挙げ身体に変色があり虐待として扱うケースがありました。今回の件でもデイサービスを利用中、家庭内の事は詳しくはわかりません。何か問題があった際にはCMに連絡し対応してもらっていました。



Q2

責任の所在がはっきりしない中で、誰もがリーダーシップを取ることが難しかったと思いますが、そのあたりはどうやっていたのか教えてほしいです。

A2, 手塚さん回答



娘さんとご本人さんの生活を改善していくためには誰かが動かないといけないので、包括と協働させてもらいました。責任については、どのCMも感じる事ではあると思うのが難しいものがあると思います。

誰も責任の所在がはっきりしない、はっきりできないからこそ、自分の立場や自身の所属する事業所を守ることも必要になります。リスクを分散させるためにも、他職種の協働が必要と考え、今回のケースは包括さんと協働させていただきました。

ちなみに、病院からのIC同席などの依頼の際は、必ず自分は「第三者」であることを伝え、それでも良ければ・・・と病院側には伝えていました。

A2, 京谷さん回答



包括の立場からしても、包括が全面的にリーダーシップを取ることではなく、お父さんの為の間接的な支援でした。

ですがこれが、今回の研修のテーマだと感じていて、制度の隙間の方は実際にいて、その制度の狭間を誰かが越えないと救えない部分もあるのかなと思った時に、今回は、皆で共有して皆で支援し合ったというところでした。



Q3

制度の狭間で苦しんでいる人への対応について。介護・障害に該当しない。また、生保などにも該当しない。相談先のたらい回しのような状態の方の支援。現在は包括がその役割なのでしょうか。

A3, 京谷さん回答



【後日、掲載予定です】



Q4

今回の場合、入院をして収入が無いのになぜ保護費が切られるのかお聞きしたいです。

(同様のご質問有) 入院して1カ月経つと生活保護費が減額になるのですね。家賃・光熱費が払えなくなるほど減額になるのでしょうか？

A4, 手塚さん回答



保護費が切れるのではなく、保護費の基準が変更になるということです。在宅での基準と入院基準があり、その額の差はかなり大きいです。それぞれの基準の額はその人その人の収入によって変わるので、CWと相談されるのが一番いいと思います。

A4, 京谷さん回答



【後日、掲載予定です】



Q5

今回のケースでは、娘さんの入院を契機に色々なことが判明し、介入出来たと思いますが、逆にそのようなきっかけが無い場合に早期発見・介入する方法、取り組みはあるのでしょうか。

A5, 手塚さん回答



今回は娘さんの入院を契機に支援を加速できましたが、以前より金銭管理に問題あったので、遅かれ早かれ何かしらの動きはあったと思います。普段から、担当ケースにおいて予測されるリスクに対し、常に多方向にアンテナを張り、業務にあたっています。

A5, 京谷さん回答



【後日、掲載予定です】



Q6

地域ケア会議はどのようなタイミングで開催されるのですか？

A6, 京谷さん回答



どのタイミングでも、というのが、正直なところですよ。関係者皆で共有した方が解決策がありそうだとか、体制を整えた方が良さそうだとか、そのようなタイミングだとより効果的かなと思うのと、関係している人が沢山いそうだが、個人情報関係でどこまで地域の方に聞いていいんだろうか等の迷いがあった場合には効果的なのかなと思います。



Q7

本ケースに関わらず包括としては、どんな方からも、どんな職種の方からも早い段階で相談をいただきたいと思っているのですが、包括に相談をするタイミングで迷ったりするのでしょうか？

(川口先生：包括が全て対応する、ということではなく、迷ったらまずは相談してもらえれば、という理解で良いですか？)

A7, 京谷さん回答



今はまだ早いですが、ゆくゆくは相談するかもしれない、というタイミングでも相談いただければ、一緒に考えさせていただきたいです。



Q8

40代、50代になり発達障害の疑いと思われる方の診断はやはり、難しいのでしょうか？

A8, 長谷川さん回答



児童であっても成人であっても検査基準があるので診断結果は同じだと思います。日常生活の上で様々なスキルが身に付いていることもあり、困り感が少ない場合には、本人自身も障害に対する受容ができないことが想定されます。診断を受けることよりも受診することの難しさがあると思います。



Q9

障害者サービスで区分がなくても利用できる訓練給付はなにかの基準はありますか？

A9, 長谷川さん回答



障害者手帳や医師の意見書等で障害があることが前提とはなりません。例えば、就労継続支援B型の利用であれば一般就労を行っていたが、年齢や体力の面で一般企業での就労が困難となった方や障害基礎年金1級を受給している方などの条件を満たす方などが対象となります。どのサービスを利用するのかによって対象となる基準等があります。



Q10

介護保険の短期入所では、その方の所得、預貯金に応じた食費、居住費の減免はありますが、障害福祉サービスでも同様の制度はありますか？

A10, 長谷川さん回答



障害福祉サービスの短期入所の利用に関しての減免に関する制度はありません。共同生活援助（グループホーム）入居の際には所属に応じて上限1万円の家賃額補助があります。



Q11

在宅酸素が必要で難病指定もあり、就労継続A型は雇用契約があるため、出勤日数や勤務時間の点で身体的に負担が多いのかと思いました。なぜA型を選択されたのかと、実際の利用頻度や利用時間を教えてください。

A11, 長谷川さん回答



本人と見学に行き、本人からA型に行きたいという強い意志がありました。通所する時には、在宅酸素は夜間のみで、日中はしていなくても良い状態で、身体的にはものすごく辛いなどはありませんでした。もしあったとしてもA型事業所で、通所時間や日数の調整等していただけることがあり、A型にお願いすることにしました。日数は、週5日通所されています。



Q12

相談支援専門員について、介護でいうケアマネジャーのような立場と認識していますが、一般的にどのような流れで相談支援員がつくのでしょうか？また、ケアマネジャーのように「〇〇さんに担当してほしい」と相談支援員を指名することは可能なのでしょうか？低レベルな質問ですいません。

A12、長谷川さん回答



今回のように直接ご連絡頂いた場合は、本人と面談して、契約してという流れになります。

これ以外だと、多くは直接行政に相談して頂いて、行政から、相談支援事業所の紹介を受け、繋がっていくという流れが多いです。

相談支援専門員の指名については、それぞれの事業所で状況が違う為、なんとも言えないところではありますが、担当件数などもあるのですぐにはならないかもしれないが、ある程度は融通をきかせてくれるのではと思います。



Q13

障害サービスでの就労継続支援を利用するにあたり、相談支援事業所でプランをたてる場合、本人への支援はどの範囲まで行われるのですか。例えば、本人への受診同行なども可能なのでしょうか。

A13、長谷川さん回答



プラン自体に組み込まれているかということもありますが、あとは本人と一緒にいけない状況、一人で行くしかないという状況で、医師からの話を聞かないと支援が成り立たない、進まないという状況であれば、一緒に行って聞いてくることもあります。

あと、理解力のことも当然出てくると思うので、自分が受診して、どこまで理解出来るのかという所によっては必要に応じてケースバイケースでの対応になります。



Q14

初期の段階で障害分野の関係機関に相談することはできないのでしょうか？

A14, 長谷川さん回答



どのくらい初期かにもよると思いますが、難病があると発覚した時等のタイミングで行政（障害保健福祉課）に相談することは可能かなと思います。

ただその時点で、計画相談に繋がらないと相談支援事業所に繋がる事は難しいと思うので、行政や、行政から委託をうけている、ばすてるさん等になるのかなと思います。

（Q, 川口先生：どこに相談したら良いかわからないって時は包括に聞いてもよいの？）

（A, 京谷さん回答：自立支援部門も新しくできたので相談してください。）



Q15【薬剤師さんからご提案】

ゴミの山の中で薬はどうなっていたのでしょうか？薬剤師による訪問服薬指導を行えば、今回の解決チームに薬剤師も参加して協力できたと思います。

（訪問する職種によって金額は異なるが、自己負担月500円位で、生活保護受給者は無料。）

A15, 手塚さん回答



娘さんはトートバッグに自分の薬を入れて手元に置いてあったので、薬管理でできていたと思います。

酸素の機械に使用する水も、自分で安く手に入る店を見つけました。

お父さんのほうは、ヘルパーさんの支援があり、また通院つどケアマネが同行していたので、おおむね管理できていました。